

アフリカで学校建てました！レポ
(ザンビア・ルヤンドコミュニティ編)

BEFORE

AFTER



NPO 学校をつくらう

スマホの電波も届かない
アフリカ・ザンビアの小さなコミュニティ「ルヤンド」

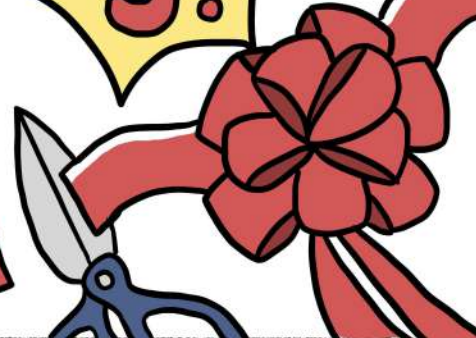


ワン
1!

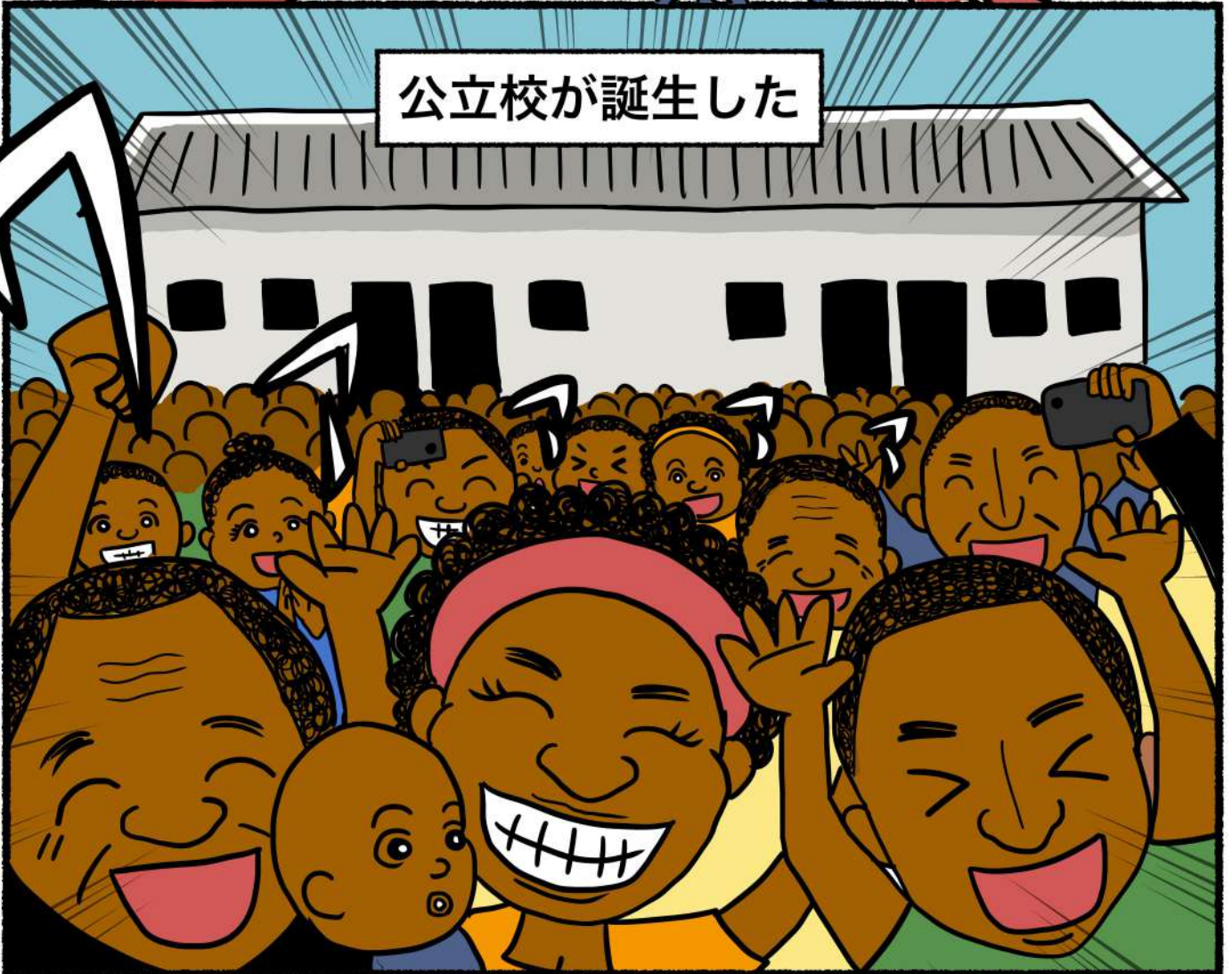
トゥー
2!

スリー
3!

2023年12月
コミュニティの悲願であった



公立校が誕生した



始まりは2022年10月

学校を建てて欲しいという
コミュニティがあるので
一緒に行きませんか？

NGO職員
Tさん

行きます!!

NPO学校をつくら
スタッフ トモカ

←夫婦→

NPO学校をつくら
代表 ホリタ

首都ルサカから車で3時間
(うち未舗装道路2時間)

ガタ
ガタ



ダイジョブです!!

大丈夫ですか…？

毎晩ドライバー
ロナルド

やっとのことでルヤンドコミュニティに到着



そこにはボロボロの建物が…

これはコミュニティ自ら建てて
運営しているコミュニティスクールです



教室内の黒板には
子ども達が学んでいる形跡



しかし机がない教室もあり
丸太をイス代わりにしていた



ここでは約200人の
子供たちが
学んでいます

ルヤンドチュアパーソン
デニス

最寄りの公立校は
7キロ先…
子ども達が通うのは
難しいので

ここに自分たちで
コミュニティスクールを
建てました

今は僕たち4人が
ボランティアで子ども達に
教えていますが

先生代表
ジョニー

公立校ができれば
政府から先生が派遣され
必要な支援も受けられます

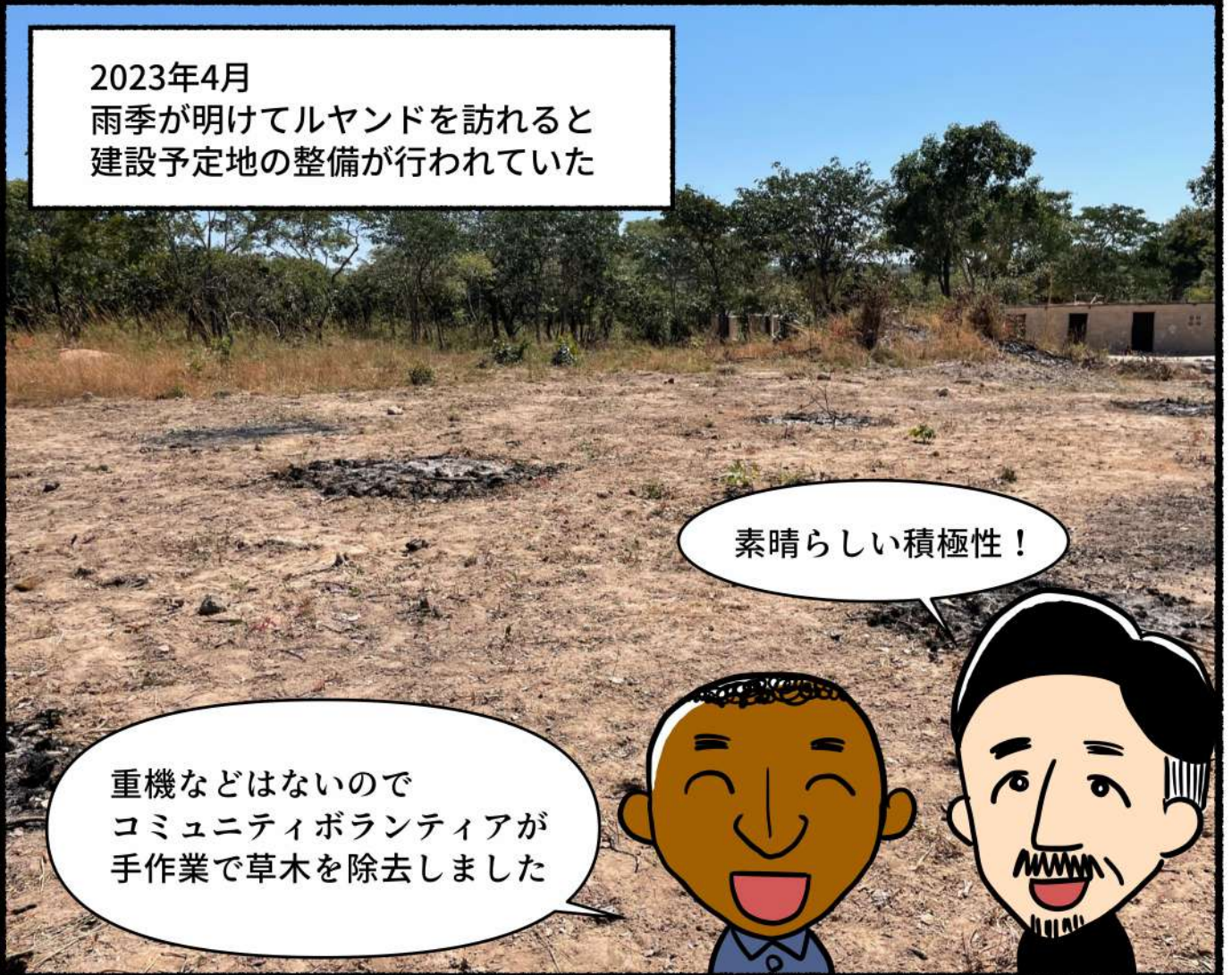
この地に学校を
建てて欲しい!!

コミュニティメンバーから学校を建てるために
寄付された土地もすでにあり、
ルヤンドでの学校建設を行うことに決定！



…が、11月～3月のザンビアは雨季
ルヤンドへの道も度々遮断されるため
雨季が明けるのを待ってから建設を始めることで合意

2023年4月
雨季が明けてルヤンドを訪れると
建設予定地の整備が行われていた



素晴らしい積極性！

重機などはないので
コミュニティボランティアが
手作業で草木を除去しました

ルヤンドの代表者および
コミュニティメンバーである現場監督と
打ち合わせを行い



この内容で合意



新設する校舎は3教室
いずれ公立化を目指す



コミュニティ側は労働力を提供
(基礎工事はボランティア、
それ以降の作業には日当を支給)



学校建設に係る資材費は
NPO学校をつくろうで負担

2023年5月
基礎工事開始



週2回のボランティア作業日に
コミュニティメンバーが
力を合わせて工事を行なった





2023年9月
約3ヶ月で基礎工事が完了

ここでレイアウトが勝手に変わっていたことが発覚！
公立校の基準に合わせるために職員室と倉庫を追加したとのこと

実際の図面

公立化のために必要なら変更も仕方ないがちゃんと共有してくれ～



ここからは現場監督指揮の下、
コミュニティの土木作業経験者5名
+お手伝い5名でブロック積み



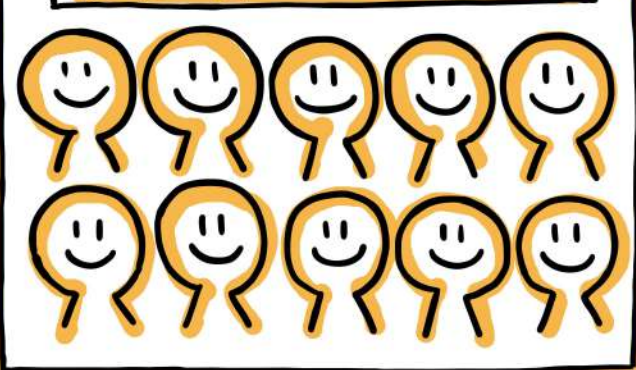
なんと2ヶ月ほどで
ブロック積みが完了

早っ!!!

ここまで大きなトラブルもなく順調…
と思いきや、**トラブル発生!!**

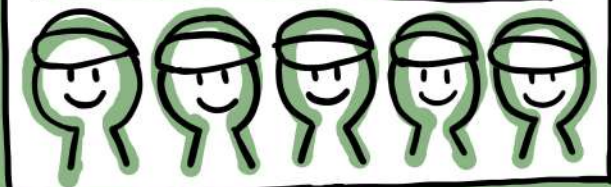
我々が現場監督に説明した
日当の支払いは…

労働者10人一律K50



一方、現場監督が労働者に
説明した日当の支払いは…

土木作業経験者K100



その他の労働者 K50



現場監督、悪い人ではないのだが
私たちにも労働者にも
「NO」が言えなくてこうなったな…
(ザンビア人は実は「NO」と言えない国民性)

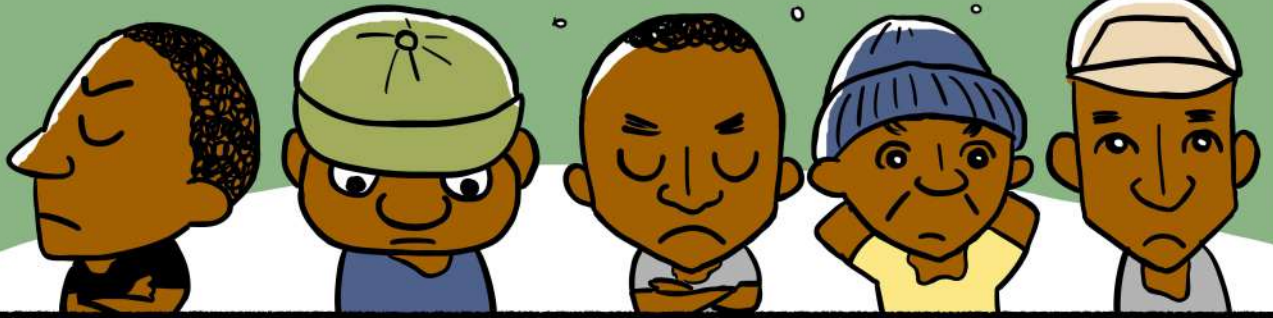
相手の要求を全て飲むのも
今後が心配だし、どうしたもんか



※ちなみに日当の金額(K50)は、ザンビアでの作業員の平均賃金を参考に
コミュニティとの話し合いの末、決定しました

声を荒げて怒ったりはしないが
明らかに不満そうな労働者5人…

聞いてた話と違う



約束が違うのは
お互い様…

労働者からの信頼を
失わないためにも



労働者が足りない
と主張する分の半額
を払って落とし所としよう

その妥協案を労働者に伝えると



瞬時に解決

Thank you !!

こうしてやっと屋根の設置作業に移れると思いきや…

屋根の資材費だけで
100万円!???

ここまでの総建設費用
よりも高いんだけど!??

見積り書

ザンビアでは
スチール類が高いんだ

この規模の学校だと
それくらいの金額はかかるよ

屋根の技術者
ダニエル

何とか費用を抑えるべく
資材屋を巡ったり

SHOP A

SHOP B

SHOP C

木材を現地調達
して使うのは?

安い材料でスチールを代替する案を
話し合ったり、画策するも…

う〜ん…

大幅予算
オーバー!!

資金調達
もっと頑張らなきゃ...

仕方ないー
ハハハ

ちなみに今回のプロジェクトでは
寄付金を募ることに加え、
マーケットでの日本食屋台出店と



現地邦人へのケーキ・お惣菜の
個人販売で資金調達を行いました

※クラウドファンディングの場合

クラウドファンディング等で寄付を募ることもできますが

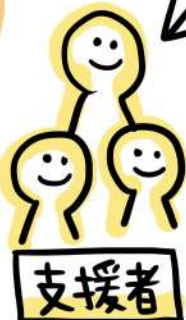
等価交換というよりは
おまけの要素が強い



私たちは今後も継続的に学校建設プロジェクトを
続けていくことを視野に入れているため
ソーシャルビジネスに近い形を取りました

支援者が求めるもの
(おいしい日本食)を
等価交換

支援者とコミュニティに
喜んでもらえてハッピー



学校が建て
てハッピー

寄付でおいしい物が
手に入ってハッピー

三方よし！

結局全ての建設費用を賄うことは出来ず
一部を寄付に頼ることにはなりましたが、
予想以上の金額をこの取り組みによって
調達することができました



2023年12月
ついに校舎が完成！

とびあえす"



HANDOVER CEREMONY
OF IKS CRB
BY
MR. & MRS. HOLLTER
GUEST OF HONOUR
MR. JOEL MEDYONA
IC. CHICAMEA DISTRICT

通常、個人が建てた学校は私立校となり、
学習机の用意や先生の雇用など
建設後の学校運営にもお金がかかるが



コミュニティが政府機関と
掛け合った所

ルヤンドに日本人が
コミュニティスクールを
建てています

その学校を公立校として
ルヤンドの子供達の教育を
政府として支援してください！

ルヤンド代表
子コ

オーケー！

郡教育
担当官

私たちが建てた学校の
公立校化が決定!!

公立校となれば、机の支給、先生の派遣など
基本的には全てザンビア政府が行い、



子供たちは無償で学校に通える
(ザンビアの公立校は授業料無料)

2023年12月21日

私たちが建てた学校をコミュニティおよび
政府に引き渡すためのセレモニーが行われた

ここルヤンドで子供たちが
学び始めたのは約30年前のことです

その時から私たちは子供たちが
「安心して学べる学校」の創立を
熱望し続けてきました

そして今日、
ルヤンドに念願の学校が誕生したことを
心からうれしく思います

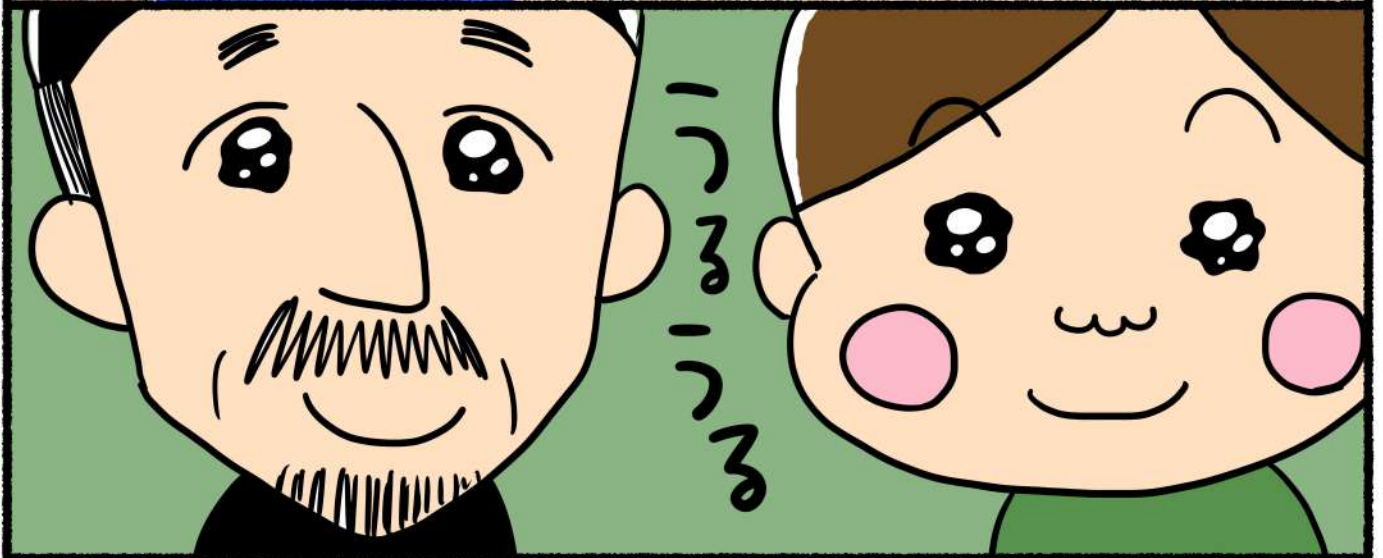




雨に濡れることなく
強風に吹かれることなく
太陽の強い日差しにさらされることなく

新しい安全な環境で
勉強できるのがとても楽しみです

家族のため
コミュニティのために
これまで以上に
一生懸命学びます



スピーチの後は
みんなで踊って食べてお祝い



実はドアと窓の設置、壁のペンキ塗りなどは
セレモニーに間に合わず、
セレモニー後も建設作業は続きました



そして2024年2月
ついに校舎が完成!!



3教室+2職員室+1倉庫室の



ルヤンド小学校が爆誕しました!!

ザンビア政府からは
学習机と椅子の寄贈と



TEACHERS!



先生2名の派遣が
約束されており

新学期から新しい校舎で
子ども達は学び始めます

※旧校舎でアートクラスを
開催した時の様子





ルヤンド小学校は、
コミュニティの人々の手で作られた学校です



多くの方に寄付にご協力いただいたおかげで
必要な資材を揃えることができました



みんなで作ったこの学校は末長く大切に利用され、
子ども達、そしてコミュニティの未来を変えるでしょう



本当にご協力ありがとうございました



世界の子供たちが
安心して学べる環境づくりを
これからもサポートしていきます



NPO 学校をつくろう